

第7回体育祭

総合・応援コンクールともに青ブロック優勝

月刊 新翔タイムズ

第63号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社



新翔高校(竹村校長)では、10月1日に第7回新翔高校体育祭を開催した。天候にも恵まれ、全ての競技を無事に終了し、総合・応援部門とも青ブロックが制し、完全優勝を果たした。今年度のブロック制は、1年生5クラス、2・3年生4クラスの展開であるため、単純に縦割りにはずせず、1年生各クラスを4分割した編成の4ブロックで実施することになった。

昨年は5ブロックで行っており、今年度はブロック当たりの人数が増えたため、3年生は生徒をまとめるのに苦労していたが、各ブロックとも団結して取り組み、下級生をうまく指導していたようだ。毎年3年生からは、実施する前は憂鬱(ゆううつ)で、下級生をうまく動かせないことに苦労している。立ちのちもあるが、終わった後は皆「やっ」とよかった。自分たちでやり切った達成感は今までの学校生活の中でも一番「という声が多く聞かれる。

今年の3年生に関しても同様で、体育祭終了後の学校生活にもいい影響を与えている印象がある。進路の取り組みとの同時進行は、不安もあると思われるが、どちらも必死に頑張ることで、自分にはプラスになるのだと感じる。

入場行進から掛け声を掛けて、足をそろえようとする姿やリレーや学年競技へ取り組む姿、最後の校歌斉唱を皆で肩を組んで歌う姿など、生徒の体育祭への思いや勝負に懸ける思いが学校全体を一つにまとめた。生徒の素晴らしい団結力を目の当たりにし、この伝統をぜひとも下級生は受け継ぎ、さらに素晴らしい体育祭にしていくことを期待したい。結果は別表の通り。



【優勝】

▽1年生大縄跳び	1年3組
▽2年生綱とり	2年4組
▽3年生綱引き	3年2組
▽応援コンクール	青ブロック
▽ブロック総合	青ブロック



笑顔で「ハレヤ節」踊る 新宮秋まつりに参加

10月13日(日)に行われた新宮秋まつりに、本校3年生の生涯スポーツ・競技スポーツ選択生と体育科教員が参加した。本校体育祭でも披露した「ハレヤ節」であるが、体育祭とはステージの大きさが異なるため、隊形を再考し出陣した。

本番までの時間が非常に短く練習時間が少ないため、不安を抱えながらも本番を迎えた。しかも、昨年末は夜の部に参加していたが、今回は昼の部で出場するため、会場が大きさが分らず、さらに不安要素が増えた。しかし、始まってみると生徒が雰囲気を楽しみ、全力で演技しており、それが笑顔で「ハレヤ節」を踊る姿が、観客から大きな拍手を呼び、会場を盛り上げた。

クラブ紹介 陸上競技部

新翔高校の陸上競技部は部員の人数は少ないものの、毎日一生懸命練習に取り組み、大会では、学校のグラウンドのよつに土の上を走ることはありません。本番と同じシューズや環境で走ることができ、練習を行うには十分な環境が備わっています。現在いる部員は高校から陸上競技を始めた初心者です。高校への入学を機に陸上競技を始めようとする生徒もいます。また本校のグラウンドには競技場と同じタータンが約100坪あります。大会では、学校のグラウンドのよつに土の上を走ることはありません。

本番と同じシューズや環境で走ることができ、練習を行うには十分な環境が備わっています。現在いる部員は高校から陸上競技を始めた初心者です。高校への入学を機に陸上競技を始めようとする生徒もいます。また本校のグラウンドには競技場と同じタータンが約100坪あります。大会では、学校のグラウンドのよつに土の上を走ることはありません。



◆先生の紹介◆
藪奈美先生

私は和歌山県日高郡で生まれ育ち、大学生の頃は鹿児島県鹿屋市で生活をしていました。そして、大学卒業と同時に新宮市にやってきました。新翔高校に赴任してからは、新宮市での生活は今年で5年目になります。緑や海に囲まれ、地域の方々が声を掛けてくださるこの温かみは、私にとって「第二の故郷」といっても過言ではありません。私が新宮市で生活をするようになったのは、友人や家族が訪ねてきてくれました。歴史ある観光名所や祭りを訪ねたり、おいしい海の幸や特産品を食べたりして、皆がいつまでも大満足してくれていることが嬉しです。

新翔高校に赴任し、私はこの地域特有のものを新たに知ることができました。それは「熊野ハレヤ音頭」と「熊野ハレヤ節」です。新翔高校では、選択科目の授業の中で、一部の生徒がこの踊りを学んでいます。この踊りは、先に行われた体育祭や新宮秋まつりで発表されました。私も生徒のパワー溢れる踊りに負けないように練習をして、本番に挑みましたが、やり終えた後は大変ですが、達成感を感じることができました。私のモットーは「日々勉強、日々感謝」です。この気持ちに胸を、何事にも前向きに取り組むことを心掛けています。苦手なことや、新しいことに挑戦するときは不安もありませんが、前向きな姿勢で取り組んでいくことで、今まで多くの方々に助けられてきたことに感謝しています。また前向きに向上心を持って取り組むことは、今まで多くの可能性を広げてくれました。私も自身がその姿勢で取り組むことで、生徒にもそのことを伝えたいと思っています。最後になりましたが、これからの新翔高校で、生徒と共に汗を流しながら、私も成長できるように頑張りたいと思います。

◆先生の紹介◆
「きのくに」学び月間

授業や学校行事を公開

学校開放月間(きのくに)の学び月間が11月1日(金)～30日(土)の期間で行われます。公立学校において県下一斉に授業や学校行事を公開するとともに、学校の活動を本校では次のような日程となっております。

11月1日～30日

11月5日(火) 中高連絡会議

11月11日(月)～22日(金) 観光甲子園に向けた取り組みのまとめ展示

11月16日(土) 文化祭(七海祭)

11月20日(水) 一般開放(午後10時30分～午後2時30分)

11月20日(水) 図書館一般開放

「観光実務」の授業 地域文化系列3年生がホテル実習

地域文化系列3年生の勝浦観光ホテルでのホテル実習が始まりました。県が進めていた3年間の地域産業の担い手育成プロジェクトは昨年度終了しました。

毎週金曜日の5・6限の観光実務の時間に勝浦観光ホテルの方で実習を行っています。初回の9月6日は奥川社長の自己紹介に続いて、ホテル実習、10月18日宴会場設備と実習を重ねていきます。

実習のある日は、朝食を終えたらすぐに体操服に着替え、バスに乗り込み勝浦観光ホテルへ移動します。普段の授業では味わえない体験を主とした実習に生徒も熱心に取り組んでいます。12月には、ホテル実習を終えることとなりますが、貴重な体験からたくさんのご意見をいただき、成長していただきたいと思います。

